



## 【自衛隊札幌病院医療情報システムの換装】

令和2年2月15日

2月14日（金）・15日（土）、自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、病院の診療・検査・会計等の業務遂行の基盤を維持するため、5年ぶりに医療情報システムの新システムへの換装を行った。

病院は、本システム換装事業を今年度の主要事業として位置づけ、年度当初から病院各課等の担当者により新医療情報システムプロジェクトチーム24名を編成し、10月から換装業者と綿密に調整・準備を推進し、14日（金）診療時間終了後の2000から15日（土）0800まで、現行システムを停止してデータ移行作業を行った。

15日（土）0800から旧端末の撤去及び新端末の設置作業を行い、設置後は、病院職員と換装業者による器材点検、院内運用テストを行い、稼働判定を実施して、1800に新システムへの換装を完了した。

業務遂行基盤を確立し、災害、停電の発生、器材の障害やシステムの不具合の発生など考えられる不測事態への対処要領を確立して切り替え作業を行った結果、17日（月）から無事に新システムでの診療を開始することができた。



病院システム担当者と換装業者の調整



新システム器材の準備



新システムの設置作業



病院長（大鹿陸将）と業者による稼働判定



新システムの器材点検



院内運用テスト